

栽培実験計画書

栽培実験名	チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(MON89034×MON88017) (スイートコーン)の害虫抵抗性効果試験
実施会社・法人名	日本モンサント株式会社
公表年月日	2019年4月19日
<p>1. 栽培実験の目的、概要</p> <p>(1) 目的</p> <p>すでに安全性が確認され米国で栽培されている、遺伝子組換えトウモロコシのスイートコーンと従来のスイートコーンを比較栽培し、見学者の方に虫害や生育の差を見ていただきます。また収穫物(未成熟トウモロコシ)は弊社イベントで試食の材料に用います。</p> <p>(2) 概要</p> <p>本栽培実験は日本モンサント株式会社の隔離ほ場で、2019年5月から2019年9月下旬まで行う予定です。隣に非組換えトウモロコシ品種の栽培区を設け、これと比較することで害虫抵抗性の効果を試験します。</p>	
<p>2. 栽培実験に使用する第1種使用規程承認作物</p> <p>(1) 作物の名称</p> <p>チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(MON89034×MON88017) (スイートコーン)</p> <p>(2) 第1種使用規程の承認取得年月日等</p> <p>本実験に使用する遺伝子組換えトウモロコシ(スイートコーン)の第一種使用は、2008年10月14日に承認された、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(MON89034×MON88017)の第一種使用の範囲内です。</p> <p>(3) 食品安全性承認作物又は飼料安全性承認作物の該当性</p> <p>食品安全性は2014年11月に厚生労働省より、安全性の審査を経た旨の公表がなされたものとみなされました。飼料安全性は2013年11月に農林水産省により、飼料安全法に基づき組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の安全性確認をすでに受けているチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統(デントコーン)と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統(デントコーン)の後代交配種として安全性に関する報告を行い、了承されました。</p>	
<p>3. 栽培実験の全体実施予定期間、栽培開始予定時期及び栽培終了予定期間</p> <p>(1) 全体実施予定期間</p> <p>2019年5月中旬より2019年9月下旬</p> <p>(2) 栽培開始予定時期及び栽培終了予定時期等</p> <p>2019年5月中旬：播種</p> <p>2019年7月上旬～7月中旬：開花予定</p> <p>2019年9月下旬：栽培終了</p>	

4. 栽培実験を実施する区画の面積及び位置(研究所等内の区画配置関係)

(1) 第1種使用規程承認作物の栽培規模

約 128.6 m²

(2) 栽培実験区画の位置

日本モンサント株式会社河内研究農場の隔離ほ場

住所 : 茨城県稲敷郡河内町生板 4717 番地

5. 同種栽培作物等との交雑防止措置に関する事項

交雑防止措置の内容

出穂期に除雄します。

6. 研究所等内での収穫物、実験材料への混入防止措置

(1) チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ (MON89034×MON88017) (スイートコーン) を隔離ほ場外に運び出す場合には、密閉された容器を使用し、混入や外部への流出を防止します。収穫物は日本モンサント株式会社河内研究農場から運搬後、速やかに加熱による不活性化を行います。

(2) 試験の過程で行う調査及び管理作業、収穫作業に使用する機材を隔離ほ場から持ち出す場合は、付着した土壌や種子等を隔離ほ場内で洗い流します。

7. 栽培実験終了後の第1種使用規程承認作物の処理方法

栽培終了後の植物体残渣は、隔離ほ場内に鋤き込みます。収穫物(未成熟トウモロコシ)は加熱により不活性化後、一部を試食用に用い、残りは一般の廃棄物として処分します。

8. 栽培実験に係る情報提供に関する事項

今回の栽培に用いる遺伝子組換えトウモロコシ(スイートコーン)の第一種使用は、チョウ目及びコウチュウ目害虫抵抗性並びに除草剤グリホサート耐性トウモロコシ(MON89034×MON88017)の第一種使用の範囲内であり、その生物多様性影響評価概要については、環境省のホームページ(<http://www.env.go.jp/press/files/jp/11965.pdf>)で公開されています。

本実験に係る連絡先: 日本モンサント株式会社 広報部

電話番号: 03-6266-7383

FAX 番号: 03-3212-8221

9. その他

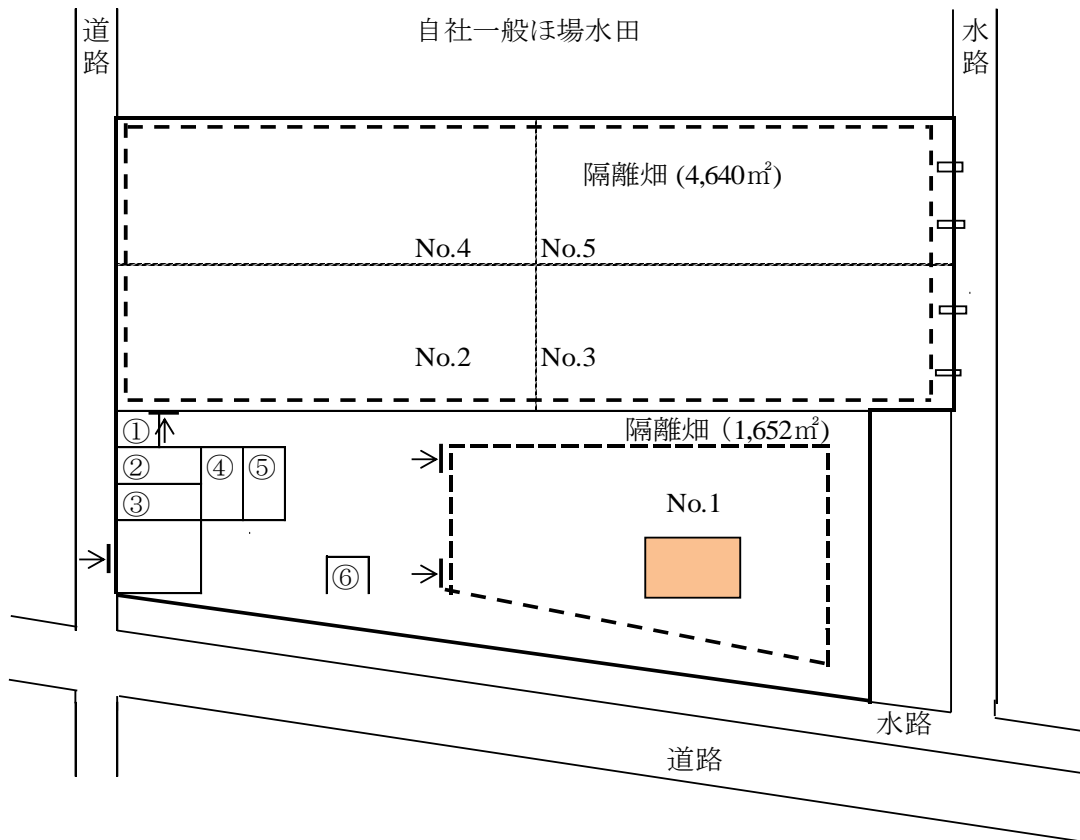
(1) これまでの安全性評価の経緯

2008年10月14日: 遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物多様性の確保に関する法律に基づく安全性確認が終了。

2013年11月13日: 飼料安全法に基づき、組換えDNA技術応用飼料及び飼料添加物の安全性確認をすでに受けているチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統(デントコーン)と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統(デントコーン)の後代交配種として安全性に関する報告を行い、了承された。

2014年11月12日: 食品衛生法に基づき、安全性の審査を経た旨の公表がなされたものとみなされた。

隔離ほ場全体図及び設備の配置



- | | | | |
|-------|---------|---|---------|
| ⇒ | 入口 | ① | 洗場 |
| — | フェンス | ② | 農機具庫 |
| - - - | 防風網 | ③ | 作業室 |
| ■ | 今回のデモ栽培 | ④ | ビニールハウス |
| | | ⑤ | 焼却炉 |
| | | ⑥ | 排水パイプ |